取扱説明書

yamada

LEDペンダント
(天井付専用型)
ご使用になられる前に必ずお読み下さい

この取扱説明書には取り付け方や電球の交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ　：この器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。
一般の方の工事は法律で禁じられています。

工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

■仕様

品番	適合ランプ	消費電力	適合電圧
PD-2644-L	LDA16L-G/100W×2灯(電球色相当)	31.4W	AC100V(±6%)

この取扱説明書のマークについて。

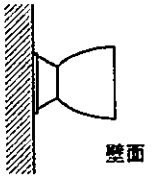
⚠ 警告　説明書中の　警告　は重大な人身事故の原因となる危険を示します。
⚠ 注意　説明書中の　注意　は物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
❗ このマークについている説明文は、必ず守ってください。
🚫 このマークについている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

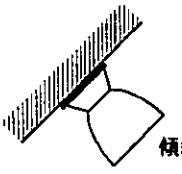
● 取り付け　取扱い上の注意

⚠警告

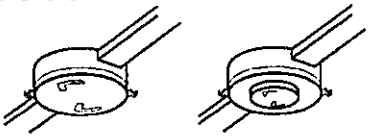
一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気の多い場所では使用できません。
★漏電や感電事故の原因となります。

次のような場所には取り付けないでください。　★器具の落下事故の原因となります。


壁面

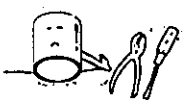

傾斜した場所

不安定な場所


ケースウェイにセットされている配線器具

- 補強材の無い場所への取付け。　（ボックスに取り付ける場合を除く）。
- 石膏ボードなど弱い建材面への取り付け。
- 樹脂製ボックスカバーへの取り付け。
（埋め込みボックスに取り付ける場合は、必ず金属性ボックスカバーに取り付けてください）。
- 凸凹のある面には取り付けないでください。
★いずれの場合も器具の落下によるケガの原因となります。

器具の下面を布などで覆わないでください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。



器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

⚠注意

❗ ＡＣ100Ｖ専用です。必ずＡＣ100Ｖの電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱して、火災の原因となることがあります。

温度の高くなるもの（ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近くに設置しないでください。
★器具カバーの変形や火災の原因となります。

殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。

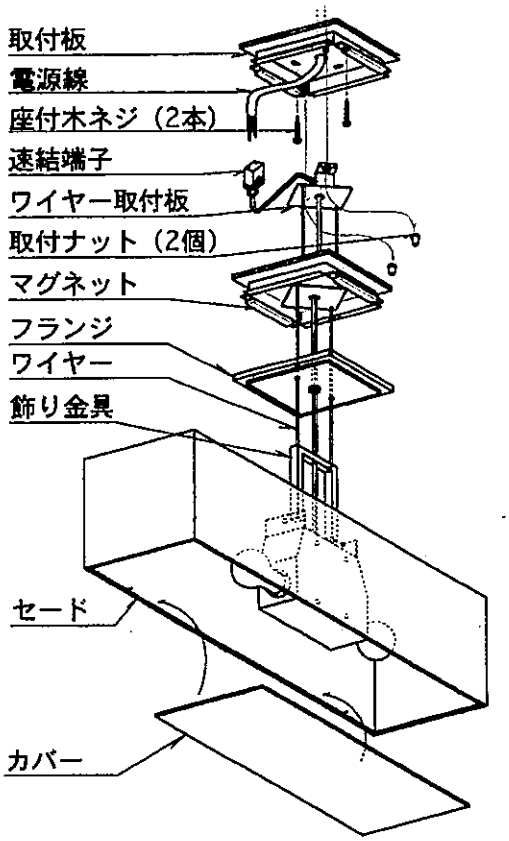
❗ この器具は周囲温度5℃～35℃の中で使用してください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

ヒビの入ったカバーや、一部の欠けたカバーは使用しないでください。
★カバーの破損、落下の原因となります。

● 各部の名称

（説明図は、一部を省略抽象化した図です。）
（不足している部品があった場合には、お買い上げ店または別紙の山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。）

■ 器具構成図



■ 付属品

座付木ネジ ――― 2本
（取り付け金具用）

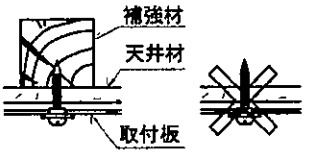
E26 電球形LEDランプ ―― 2個
LDA16L-G/100W

取扱説明書（本書） ――― 1枚

保証とアフターサービス（別紙）
――― 1枚

● 取り付け場所の確認

⚠ 警告 ❗ 取り付け金具は、必ず補強材のある場所に取り付けてください。
★補強材のない場所に取り付けた場合、器具の落下事故の原因となります。



⚠ 注意 建物の構造によっては、付属の木ネジでは取り付けられないことがまれにあります。そのような場合には、器具取り付け場所の構造を確認の上、適切な長さの木ネジにて取り付けてください。

● 取り付け方 ⚠ 注意 ❗ 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

⚠ 警告 ❗ 器具の取り付けは、説明書に従い確実に行ってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下によるケガや火災、感電事故の原因となります。

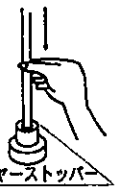
❗ 端子に差し込むケ-ブルは、必ずＶＶＦΦ1.6またはΦ2.0の単線ケ-ブルで真っ直ぐな線を使用してください。
★指定以外のケ-ブルや曲がった芯線、汚れた芯線の使用は、接触不良よる火災、感電事故の原因となります。

吊下げ高さの調節

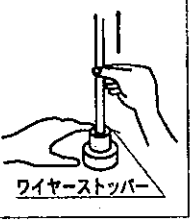
飾り金具を持ち上げながら、ワイヤーストッパーを調節してお好みの高さに設定します。
（出荷時は全長1.5mにセットされています）
高さ調節は、最大高=1.5m(出荷時のもの）～最小高600mの範囲内で行ってください。
あらかじめ短めにセットしておくと、『6』の微調整をするときに楽に行えます。

●ワイヤーストッパーの調節のしかた

短くする場合
①ワイヤーストッパーの中にワイヤー線をまっすぐに押し込みます。
＊ワイヤーストッパーの先端部を下側に押しながらワイヤー部を押し込むと楽におこなえます。



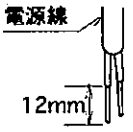
長くする場合
①ワイヤーストッパーの先端部を下側に押しながらワイヤー線をまっすぐ外へ引きだします。
②長さが決まったらストッパー先端部を放します。
（ワイヤー線はそこで固定されます。）



● 器具を取り付ける前に。
①フランジを下へ引っぱって取付板からはずします。
②取付ナット（2個）をはずして、
ワイヤー取付板を取りはずします。

1、電源線の被覆を剥ぎます。(図1)

(図1)



①電源線の外側の被覆を剥ぎます。
②電源線を速結端子背面のストリップゲージ（12mm）に合わせて剥ぎます。

2、取付板を取り付けます。(図2)
付属の座付き木ネジ（2本）でしっかり締めて固定します。

3、電源線を接続します。(図2)
電源線を電線差し込み穴に差し込み
速結端子に接続します。

4、ワイヤー取付板を取り付けます。(図2)
①取付板の植込ネジにワイヤー取付板の
取付孔を合わせ入れ取付ナット（2個）で
締付けて固定します。
②速結端子をワイヤー取付板の上に入れます。

⚠ 注意
⃠ 速結端子は必ずワイヤー取付板の上に入れてください。
★フランジの落下の原因となります。

5、フランジをセットします。(図2)
フランジを取付板のマグネットにはりつけます。

6、吊り下げ高さを調節します。
『吊り下げ高さの調節』の項目をご覧ください。

7、セードをセットします。(図3)
①セード取付ナットを緩めます。
②セードを（図3）の向きで灯体に通します。
③セードを灯体の上まで通してから90°回転させます。
④セード取付金具の切り欠きを灯体の植込ネジに合わせ
入れ、セード取付ナット（2個）を締め込み固定します。

8、電球をセットします。(図7)
電球をソケットに合わせてねじ込みます。

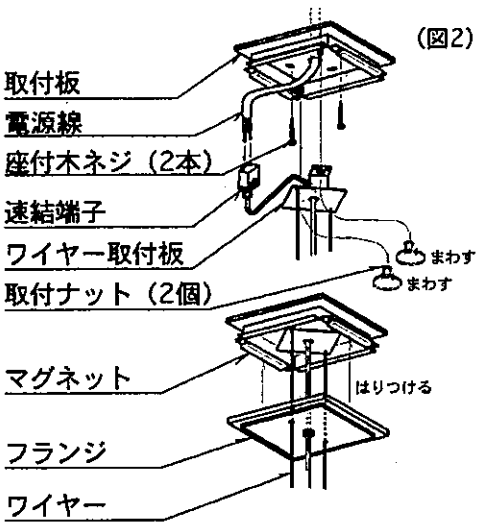
⚠ 注意
⃠ 電球は乱暴に扱わないでください。
★電球が割れてケガをする恐れがあります。

9、カバーを取り付けます。(図8)
カバーを斜けて差し込みます。

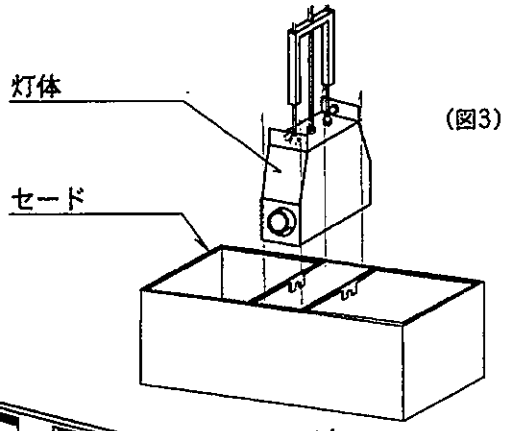
⚠注意
⃠ カバーを乱暴にあつかわないでください。
★カバーが割れる恐れがあります。

❗ カバーにヒビが入っていたり、一部が欠けている場合には、
ただちに新しいカバーと交換してください。
★カバーの破損、落下の原因となります。

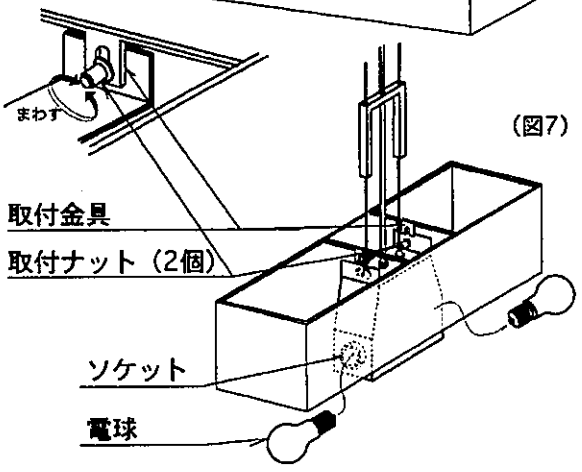
(図2)



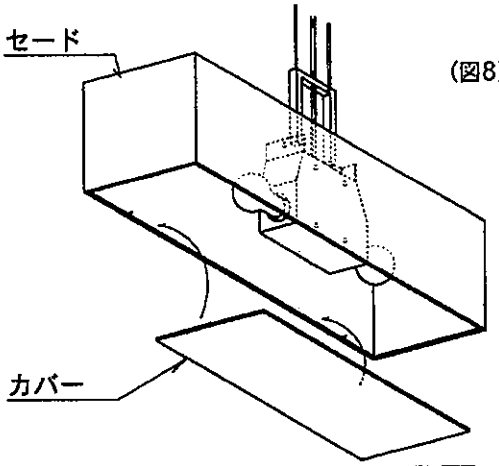
(図3)



(図7)



(図8)



● スイッチ操作

壁スイッチにて　ON-OFF　操作を行います。

お手入れについて ⚠ 注意 ❗ 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

● こまめに清掃を：照明器具やランプが汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

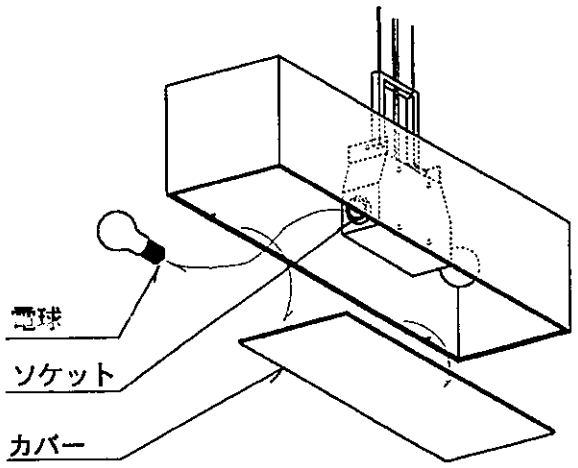
⚠ 注意

● 電球の交換やお手入れをするときは、必ずスイッチを切ってからとりかかってください。
☆火災や感電事故の原因となります。

● スイッチを切った直後の電球は熱くなつています絶対に素手で触らないでください。冷えてから交換するか、またはハンカチやタオルなどを使って交換してください。★火傷の原因となります。
● 濡れた手で触らないでください。★火災や感電事故の原因となります。

● 電球は乱暴に扱わないでください。★電球が割れて怪我をする恐れがあります。
● 適合電球以外の電球は使用しないでないでください。表紙の仕様欄を確認し、正しい電球をご使用ください。
★不適合な電球を使用すると異常過熱による火災の原因となります。
● シンナ-やベンジンなど揮発性の薬品やクレンザ-などは使用しないでください。
☆器具に傷をつけたり変色や変質の原因となります。

■電球の交換



1　スイッチを切ります。

⚠ 注意

⃠ 電球交換時、ぬれた手でさわらないでください。
★感電事故の原因となります。

2　カバ-を外します。
カバーの片側を押し上げ引き抜いて
取り外します。

3　電球を交換します。

⚠ 注意

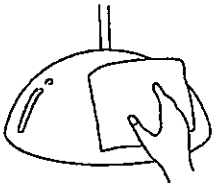
⃠ 電球は乱暴に扱わないでください。
★電球割れ等の事故の原因となります。

4　カバ-を取り付けます。
（　取り付け方　の「9」をご参照ください。）

■お手入れのしかたについて

① スイッチを切ります。
② 軽くハタキをかけるか、柔らかいハケ、ブラシでほこりを取り除きます。
③ 金具部分の汚れは柔らかい布で拭き取ります。

⚠ 注意　水や洗剤は使用しないでください。
★カバーの変型や汚れの染み込みの原因となります。



■アフタ-サ-ビスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態となりましたらただちに使用を中止し、器具の型番（器具本体のラベルでご確認ください）
故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げ頂きました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口にご相談ください。